

令和6年安曇野市議会 12月定例会 一般質問発言通告書

発言順	氏名
1	一志 信一郎
2	宮下 明博
3	辻谷 洋一
4	中村 今朝子
5	岡村 典明
6	井出 勝正
7	内川 集雄
8	橋本 裕二
9	臼井 泰彦
10	矢澤 毅彦
11	小林 純子
12	増田 望三郎
13	増井 裕壽
14	大竹 啓正

令和6年12月9日(月)・10日(火)・11日(水)
安曇野市議会

令和6年安曇野市議会 12月定例会 一般質問日程

計14名

月日・開議時刻	発言順	発 言 者	通告時間
【第1日目】 12月9日（月曜日） 午前10時 5人	1	一 志 信一郎	20分
	2	宮 下 明 博	30分
	3	辻 谷 洋 一	25分
	4	中 村 今朝子	20分
	5	岡 村 典 明	20分
【第2日目】 12月10日（火曜日） 午前10時 5人	6	井 出 勝 正	20分
	7	内 川 集 雄	20分
	8	橋 本 裕 二	20分
	9	臼 井 泰 彦	20分
	10	矢 澤 毅 彦	30分
【第3日目】 12月11日（水曜日） 午前10時 4人	11	小 林 純 子	20分
	12	増 田 望三郎	20分
	13	増 井 裕 壽	20分
	14	大 竹 啓 正	10分

提出順	12	発言順	6	令和 6 年 11 月 27 日
				午前・午後 9 時 4 分受領

(3 枚中 No. 2)

令和 6 年 11 月 27 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 井 出 勝 正

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	こどもたちが健やかに育つために		
<ul style="list-style-type: none"> ・教員の超過勤務にきちんと残業代を支払った場合、一人当たり、また市内の教員全体どれほどになると試算できるか。 ・超過勤務をゼロにしていくためにどのような取り組みを考え、実行していくのか。 ・学級定員を減らし、十分に子どもたちとふれあい寄り添える少人数学級にしていく必要はないのか。小中学校で少人数学級をさらに進めるよう国や県に求めていくべきではないか。 ・教員定数は、長く「8時間労働のうち4時間は授業と休憩にあて、残り4時間を教材研究や授業準備、その外の仕事に使えること」を前提に算出されてきた。この本来の姿に戻し、それが実行され教育現場で大幅な教員増となるよう国や県に求めていくべきではないか。 			

提出順	12	発言順	6	令和 6 年 11 月 27 日
				午前・午後 9 時 24 分受領

(3 枚中No.3)

令和 6 年 11 月 27 日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 井出 勝正

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	国保税の引き上げをやめ、紙の保険証の存続を		
質問の要旨 (具体的に記載してください) ①国保税の引き上げはいつから、どのくらい上げるのか。 ・国の指導や県の意向に従い、全県統一的な国保税にしていくのか。 ・被保険者への影響をどのように考えているか。市独自の支出(一般会計からの繰出し)は考えないのか。また、来年4月から実施する予定の1レセプト500円の市の負担は、統一的な国保税になった場合どうなるか。 ・市として国保会計への国の大幅な財政支援をこれまで以上に求めるべきではないのか。 ②利用率も低く、国民皆保険を崩壊させかねないマイナ保険証の取得強制や紙の保険証の廃止など、国のやり方にこれからも従っていくのか。 ・安曇野市として他の自治体や県にも呼びかけ、紙の保険証を存続するよう国にもとめていくべきではないか。			

提出順	7	発言順	7	令和 6 年 11 月 25 日
				午前・午後 9 時 37 分受領

(3枚中No.1)

令和6年11月25日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 内 川 集 雄

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 1 2 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	街づくりと地域包括ケアシステムを支える医療モールを安曇野に		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

安曇野市の目指す『地域共生社会』高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画を念頭に置き、安曇野市の将来を見据え、更に発展をする一つの tool として (少子高齢化・人口問題も含め) 地域の方々が住み慣れた街で、安心して暮らし続けられるように医療・介護・健康・予防・生活支援など、世代をつなぐ地域コミュニケーション拠点の場所となる医療モールが有る。

中核病院 (豊科: 日赤、こども病院、豊科病院 穂高: 穂高病院 三郷: ミサトピア小倉病院) 市内病床数 983 床の内、一般病床 274 床、療養病床 48 床があり、三郷地域には一般病床は無い。

三郷地域介護保険事務所: 22 カ所/170 カ所・薬局: 5 カ所/46 カ所

・医療機関: 7 カ所/71 カ所・歯科医院: 4 カ所/42 カ所 (三郷 カ所/市内 カ所) 医療機関等の点在、堀金地域も含め核になる医療集約施設が必要と考える。

従って三郷地域が最適と考える。

1. 安曇野市として三郷地域に医療モールを招致してはどうか。

提出順	7	発言順	7	令和 6 年 11 月 25 日
				(前) 午後 9 時 37 分受領

(3 枚中 No. 2)

令和 6 年 11 月 25 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 内 川 集 雄

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 他 (選挙管理委員会委員長)		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	「ほたりちゃん」 to 「めいすいくん」に聞く		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

あなたの行動で政治は動く

「選挙に行っても行かなくても、世の中は変わらない」と、投票に行かない人が大多数いる。選挙のたびに問題になるのは、投票率の低さだ。

しかし、投票場に足を運び一人ひとりの投票によって、10月27日投開票の衆議院議員選挙結果から、ついに『壁』が動きました。皆さんの1票が30年動かなかった壁を動かしました。

令和6年10月27日執行衆議院議員総選挙から以下に伺う。

- 市内の投票所で有権者1人に対して誤って投票用紙交付するミスがあった可能性があるとし、「本件を重く受け止め深くおわび申し上げます。また、再度基本に立ち返り、適正な選挙執行を徹底するとともに、再発防止に取り組んでまいります」とコメントした。が、基本、適正な選挙執行を徹底、再発防止に取り組む。としたが具体的に。また、効果的な再発防止策は。

提出順	7	発言順	7	令和 6 年 11 月 25 日
				午前 午後 9 時 37 分受領

(3 枚中 No. 3)

令和 6 年 11 月 25 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 内 川 集 雄

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 1 2 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 他 (選挙管理委員会委員長)		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	「ほたりちゃん」 to 「めいすいくん」に聞く		
<p>2. 令和 6 年 10 月 27 日執行衆議院議員総選挙投票率 57.76%をどの様に見るのか また、投票率 UP を目論む「選挙クイズ安曇野市投票率アップ大作戦！」の 効果は。</p> <p>3. (開票の場合の投票の効力の決定) 公職選挙法 (昭和 2 5 年法律第 1 0 0 号) 第六十七条 投票の効力は、開票立会人の意見を聴き、開票管理者が決定し なければならない。その決定に当つては、第六十八条の規定に反しない限り において、その投票した選挙人の意思が明白であれば、その投票を有効とする ようにしなければならない。</p> <p>① 安曇野市選管として、開票立会人打ち合わせ資料に示した無効票 (公選法 第 6 8 条第 1 項) と明確に記載されている例と異なる判断をした。 根拠と理由を伺う。</p> <p>② O と X の考え方を選管委員長に伺う。(答弁から無効票の例を出し聞く)</p> <p>③ 無効票を無くすために、選挙人に対する周知はどの様にしているのか。</p>			

提出順	8	発言順	8	令和 6 年 11 月 26 日
				(前) 午後 8 時 50分受領

(3 枚中 No. 2)

令和 6 年 11 月 26 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 橋 本 裕 二

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	子ども医療費無料化の是非と、義務教育関連費用の軽減について		
質問の要旨 (具体的に記載してください)			
1. 「子ども医療費無料化」に至った思いについて。 2. 医療無料化の効果の検証はどのように行っていくのか。無料化のメリット・デメリットを研究し、結果次第では将来無料化を見直すことも必要になると思うが、その可能性も見据えているか。 3. 市はいま子育て支援に注力している。子ども医療費無料化の先には、現在家庭が負担している小・中学校の教材費、中学校の給食費、小学校の給食費、これらの公費負担も順に目指していくのか。			

提出順	13	発言順	9	令和6年//月27日
				午前・午後 9 時55分受領

(2 枚中No.1)

2024年11月27日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 白 井 泰 彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和6年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	デマンド交通「あづみん・のるーと安曇野」の予約が取れない利用者をいかに少なくするか。		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

- 定期的に「あづみん・のるーと」を利用する就労事業所に通う障がい者や通院する高齢者などが予約を取れなくて困難をきたしている。予約が取れない利用目的別の利用者数やその後の利用者の対応の実態と市の今後の対応策は。
- 予約が取れない利用者を少なくする方策の一つが運行台数を増やすことだとすると、運転手の確保が課題となる。タクシー事業者は、「あづみん・のるーと」だけでなくタクシーやバス、安曇野観光らくらくタクシー等の運転手の確保を一体的に取り組んでいると思う。市や県によるタクシー会社の取り組みへの支援の現状と課題、今後の展望を伺う。

提出順	13	発言順	9	令和6年11月27日
				午前・午後 9時5分受領

(2 枚中No. 2)

2024年11月27日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 白 井 泰 彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和6年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	自転車事故をいかに減らすか。		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

- 市内における自転車事故の現状は。全交通事故件数とそれに対する自転車事故の割合と件数および事故の相手と事故の類型、重症度。自転車事故の内小・中・高校生の事故の割合と件数および事故の相手と事故の類型、重症度。交通安全上指導の必要な事項(無灯火、二人乗り、信号無視、一時不停止、一時停止後の安全不確認、発信時の前後の確認、歩道歩行者に危険を及ぼす違反、右側通行、自転車の大きさが体に合わない、ヘルメットを正しく被らない、並進、傘差し運転、その他)の状況。
- 小・中学校における自転車の安全運転教育の現状と課題は。
- 具体的な自転車の安全教育の現状と課題。
 - 自転車運転する場合も「凶器となり得る車両の運転手として道路交通法を守る自覚をもつ」安全教育が重要と考えるが。
 - 歩道のない車道を走行中に歩行者とのすれ違う場面。
 - 「自転車通行可」等の標識のない歩道に歩行者がいる・いない場合の歩道走行の場面。
 - 自転車走行中に交通事故に逢った場合の対応。
 - 自転車走行中に歩行者が横断歩道で道路を横断しようとしている場面。
 - 身体障がい者や高齢者、幼児が自転車と同じ道路を通行している場面。
- 小・中学校における信号機のない横断歩道の歩行者の渡り方安全教育の現状と課題は。

提出順	14	発言順	10	令和 6 年 11 月 27 日
				(午前) 午後 10 時 30 分受領

(4 枚中No. 4)

令和 6 年 11 月 27 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 矢澤 毅彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	ポイ捨て禁止条例の制定と“ダメごみ”に関する諸課題		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

安曇野市廃棄物の適正処理等及び生活環境の保全に関する条例(平成 30 年施行、令和 3 年改正)が、現在の安曇野市のごみに関するある種の根幹条例。その中では市民に対して、排出物の減量、資源化、適正処理の努力義務を課している。

安曇野の環境を守る観点から、ポイ捨て禁止に関しての別条例化について、ダメごみについて区での対応に限界が来ている事例を元に、諸課題について伺う。

- 安曇野市ポイ捨て禁止条例の制定は。(抽出して条例化)
- ダメごみについて、全市調査は。
- ダメごみが多い区では、かなりの人員とお金を割いて対応している。その現状を市はどう考えるか。
- 区が行う“環境整備”の枠を超えているとは思わないか。
- フリーライダーへ、居住地域でのごみ捨てのお願いを。
- 区未加入者等への周知のアプローチ方法。
- 任意団体としての区の対応措置は限界。市が販売している指定ゴミ袋を購入している以上、責任はゴミの出し主(排出者)と市にあるのではないか。市が責任を持って処理、対処するべきではないのか。